



「地球のステージ」公演会が開催

11月19日、千代川公民館において、世界各地で医療救済活動や住民の心のケアに携わるNPO法人地球のステージ代表理事であり医師でもある桑山紀彦さんをお招きし、「地球のステージ」と中川健歯科医師(下妻乙)による歯科講話を開催し、100名を超える参加がありました。

医師でもある桑山さんは、世界の紛争、災害の地で会った人たちが明るくたくましく生きる姿を、オリジナルの音楽と大画面の映像に語りを変えて、「いのちの大切さ」「人権の尊さ」「世界で生きる人々のたくましさ」を伝えていました。

また、中川歯科医師による口腔機能や誤嚥予防の講話も具体的な症例を例に行われました。

健康づくり課



シルバー人材センター会員による奉仕作業

12月28日、市役所周辺において、シルバー人材センターの会員によるボランティア清掃活動が行われました。

この奉仕活動は、毎年年末に行われ、当日は48名の参加者が、総合体育館、中央公民館、多賀谷城跡公園などで清掃活動を行い、街の美化に取り組みました。

多賀谷城跡公園の掃き掃除をしていた会員からは「年末にきれいにできて気持ちがいい」との声がありました。

長寿支援課

成年後見制度を漫才で楽しみながら学ぶ

12月24日、千代川公民館において、成年後見制度講演会が行われました。

成年後見制度とは、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、権利や財産を守る仕組みです。

司法書士の太田亮介さんから成年後見制度の制度説明があり、漫才師「青空一風千風」の漫才により、成年後見制度の解説が行われました。参加者は、時折笑いがあったり、うなずきながら成年後見制度について、楽しく学んでいました。

長寿支援課



地域おこし協力隊 荒川さんが退任

下妻市地域おこし協力隊として活躍された荒川あかりさんが、12月21日をもって3年間の任期を終え、退任しました。

荒川さんは、令和2年6月22日から下妻市第1号の地域おこし協力隊員として着任し、「下妻市の農業と食の魅力を伝える活動」や「観光資源である筑波サーキットと市民を繋げる活動」を中心に行われました。また、在任中に取得した野菜ソムリエとして、地場野菜の販路拡大にも貢献されました。さらに、ふるさと納税の返礼品の開発、仲介業の請負も行うなど、下妻市のPRに精力的に取り組みました。

退任後荒川さんは、「下妻市に家族で定住し、食と農、筑波サーキットとの連携を継続していく」と話しました。

都市整備課



廣瀬優真さん(左)と吉田下妻消防署長

人命救助で高校生に感謝状

12月25日、人命救助した下館工業高校3年の廣瀬優真さん(若柳)に下妻消防署長から感謝状が贈呈されました。

10月6日に起きた大宝地内での普通乗用車同士の交通事故で、廣瀬さんは負傷した運転手をすみやかに道路脇に避難させ、消防に通報しました。その後、事故車両から炎が上がったため、消防隊が到着するまでの間、交通整理を実施し、二次災害も防ぎました。

下妻消防署の吉田日出夫署長は「人命にかかわる大きな交通事故での勇敢な行動で負傷者を無事搬送することができた」と謝辞を述べ、廣瀬さんは「無我夢中で動いた。命が助かってよかった」と話してくれました。



菊池市長(左)と幸森つくば支社長

明治安田生命から寄附金

11月28日、明治安田生命から寄附金506,000円の寄贈がありました。この寄附金は、同社の「地域の元気プロジェクト」、「みんなの健活プロジェクト」により、自治体や地域社会との連携を深める活動の一環として、「私の地元応援募金」(従業員募金と会社拠出寄附をマッチングした寄附)で集まった本市あてのものです。

同社のつくば支社 幸森真人支社長は、「社会貢献をこれからも続けていきます」と話していました。

秘書課

小野子町内防犯パトロール隊が社会参加章を受章

小野子町内防犯パトロール隊(川渡次男隊長)はこのたび、内閣府が年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由で生き生きとした生活を送り、社会参加活動を積極的に行っている高齢者グループに与える「社会参加章」を受章し、市長を表敬訪問しました。

小野子町内は、平成22年に結成して以来、小野子町内の住民に対して積極的に声かけを実施。「歩いて健康、守って防犯」を合言葉に、安全で安心なまちづくりに大きく貢献しています。このたびの受章、おめでとうございます。

秘書課



SMCからソーラーパネル式蓄電池が寄贈

12月27日、SMC株式会社からソーラーパネル式蓄電池が寄贈されました。下妻工場長の山崎敏寛さんは、「災害時に役立つソーラーパネル式蓄電池です。避難所等で役立てていただきたい」と話しました。

同社のソーラーパネル式蓄電池の寄贈は、令和3年度から毎年寄贈され、今年で3回目の寄贈です。また、令和4年12月16日には、SMC株式会社と災害時の備蓄品の提供や被災者の救助活動に関して定めた「災害時の協力体制に関する協定」を締結しています。

消防防災課



山崎下妻工場長と寄贈されたソーラーパネル式蓄電池